

令和4年度 こどもの広場ぱいん 放課後等デイサービス 事業所内評価結果

実施期間 令和4年 11月～令和4年12月

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標・工夫している点など
体制 環境 整備	① 支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	施設基準は十分満たしており、発達課題や人数、メンバーに合わせて、部屋割りを行うことで、有意義にスペースを使えるように対応していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	配置基準は十分満たしているが、個別支援が必要なお子さんも多いため、入れる時間帯は意識して多くの職員が支援に入れるようにしていく。また、学年により登所時刻も異なっているので、時間帯よっての職員配置のバラツキにも気をつけていく。
	③ 施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	バリアフリーの環境整備をし多様化しているニーズに応えられるよう取り組んでいる。
業務 改善	④ 業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参画しているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	勤務時間の相違があり直接参加することは難しいが、申し送りや会議録を通して、職員全員が共通理解し、支援を行っていきけるようにしている。
	⑤ アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	送迎時・連絡ノート・意見箱・電話・LINEを活用し、できる限り一人一人の保護者とのコミュニケーションを大切にしている。保護者によっては、個別に電話にてお話を伺うなど、今後も意識して丁寧な関わりを心がけていく。
	⑥ この自己評価の結果を、施設の会報やホームページ等で公開していく予定であるか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	毎年3月に法人のホームページにて公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	今後、必要に応じて外部評価も行っていく予定。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	コロナ禍のため、外部研修への参加の機会が少ないもののzoom研修・法人内研修等を含め積極的に参加する機会を設け自己研鑽に努めている。その他に、支援の仕方・考え方についても、職員会議や申し送りの中で共通理解を図り、意識と質の向上を常に図っている。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画に利用しているか	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	関係機関との連携を図り、各職種の意見を反映できるようにしている。計画の見直しやケース会議も行い、支援に役立てている。
	⑩ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	勤務時間によりチームとしての立案は十分ではないが、申し送りの中で各職員の考えを共有し合うことで、多面的視点でプログラムを立案することができている。
	⑪ 活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	利用児の興味・関心に沿いながら飽きないようレクや行事のとり入れ方も含めて工夫してプログラムを企画している。今後も運動、制作等をバランス良く企画し、活動を通して色々な経験ができるように、プログラムを組んでいくことにする。
	⑫ 平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	利用時間に加え、その日のメンバーや人数に合った活動内容での課題を提供できるように心がけている。特に長期休暇については、外出レクリエーション等を企画し、様々な体験ができるように意識している。
	⑬ 支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	勤務体制上、全職員が揃っての打ち合わせは難しいが申し送り書や申し送り時に口頭で伝達し、周知できるよう工夫している。
	⑭ 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなっているか	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	職員の勤務体制もあり、学校の様子や配慮事項について、その都度声を掛け合い職員全体で把握できるように心掛けている。全職員で集まることは難しいが振り返りのタイミングを図り、申し送りの中で周知や改善に努めている。
	⑮ 日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	適切な支援及び正確な情報収集のため毎日継続して記録を取っている。保護者への対応でも必要なことは、対応した職員が書くようにしている。
	⑯ 地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響など社会情勢もあって、地域の方と交流する機会を設けることは難しい状態であった。今後は感染症の状況を考慮し、感染症対策を十分に行いながら安心・安全に地域の方との交流の機会を設けられるようにしていきたい。
	⑰ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに役立てているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	定期的にモニタリングを行うことができている。今後も6か月の期間に限らず、必要に応じて個別に対応できるようにしていく。
	⑱ ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	ガイドラインを全職員が把握できるように促し、全体で共有して日々の活動支援に役立てていけるようにしている。今後も定期的に確認できるように促していく。
評価	⑲ サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	今年度はコロナ感染対策の影響もあり、大人数での会議が難しかった。今後もリモートや電話連絡なども含めた各機関との連携を意識していく。
	⑳ 学校との情報共有や連絡調整などは、随時行っているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	日々の送迎時を中心に情報を共有しているが機会が少ないので、今後も電話連絡等を行うことで意識して連携を図っていく。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた施設と情報を共有し、相互理解を深められているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	関係機関や書類等での情報共有となっている。今後は連携が図れるよう意識して取り組んでいく。
	㉑	障害福祉サービス事業所などへ移行していくときには、支援内容や情報共有を心掛けているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	現状や今後の発達課題、支援方法などに合わせて保護者と情報共有を行っている。今後もお子さんの将来を見据えた支援ができるように心掛けていく。
	㉒	専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	同法人内に同様の事業所があり、助言・研修を受ける機会を設けることができる。
	㉓	地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	会議に参加することができている。今後も継続して参加し地域の中で情報共有や共通理解、地域への発信を行っていく。
	㉔	日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあえているか	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	お迎え時や電話・LINE連絡を通してその都度、話し合える機会を設けながらご家族の方と話す時間を大切にしている。相談がある場合は、十分な時間が取れるように調整し、話が聞けるように心掛けている。必要に応じては個別に連絡することで情報を共有している。
	㉕	保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	事業所としては単独で行えていないため同法人内の事業所にて合同で実施している。
保護者への説明責任等	㉖	運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	基本的には、契約時及び更新の際にその都度説明している。十分に伝えきれていない事も考えられるので、今後も各職員が内容を理解し説明できる体制を整え、わかりやすく丁寧な説明を心掛けていく。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	相談の必要・状況に応じて職員間で十分に話し合い、適切な支援に繋げられるようにしている。いつでも相談しやすい環境整備に努めている。また、電話やラインなども活用し、継続的な相談の場を設けられるようにしている。不満のないよう保護者様の声を丁寧に受け止められる配慮を心掛けていく。
	㉘	保護者同士の連携を意図的に用意できているか	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	コロナ禍の長期化により連携を図れる機会が用意できていない状態。今後は改善を図り、感染症対策を十分に行い交流の機会を設けていく。
	㉙	子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	苦情に発展した事例はなかった。日頃から傾聴に努め、不信感に繋がらないよう適切かつ丁寧な対応を心掛けている。
	㉚	施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	ばいんだより・プリント・実施要領を作成し、配布している。送迎時や個別に連絡することで漏れなく伝えることができている。今後も伝わりやすい工夫を心掛けていく。
	㉛	個人情報に十分配慮できているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	基本的には契約時や年度切り替え時にプライバシー承諾書にて保護者に確認を取っている。職員に対しては周知を図り、個人情報の取り扱いには十分配慮している。
	㉜	緊急時や防犯面・感染症マニュアルなどの周知はなされているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	基本的には契約時に全員に周知し、マニュアル・防犯図を作成し、掲示したりいつでも目を通すことが可能にしてある。
非常時等の対応	㉝	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	施設設計上、義務付けられてはいないが定期的に行うことができた。今後も継続して行えるようにしていく。
	㉞	虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	啓発ポスターの活用、研修への参加を通して意識を高めている。今後も伝達研修を行ない、全職員が意識して対応していけるよう周知を図っていく。
	㉟	食物アレルギーのある子どもについて、保護者に確認して適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	日々のおやつ提供や手作りおやつがあるため、基本的には契約時に必ず確認を取り職員間で情報を共有している。(現在は該当者はいない)
	㊀	ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	ヒヤリハット記録を作成しているが、捉え方の違いもあり共通理解に繋がらない部分がある。今後も、ヒヤリハットに繋がらないように捉え方の確認や話し合いの場を設け施設内で情報共有し日頃から意識を高めた関わりを心掛けていく。

上記のように、施設内でも事業所評価を行いました。今後に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。